令和05年度日進市事務事業評価シート

大事業名		交通安全対策事業				コード	02100100-0101
中事業名		交通安全対策事業				計画区分	①
担当部等		都市整備部		担当課等		道路建設課	
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	02	安全・安心を高める		会計	1	一般会計
	基本施策	10	交通安全・防犯・消費者行政		款	08	土木費
	主要施策	01	地域における交通安全対策の推進		項	02	道路橋梁費
					目	02	交通安全施設費
					大	01	交通安全対策事業
					中	01	交通安全対策事業
根拠法令・条例等		道路法、河川法					
基本計画等		通学路交通安全プログラム整備計画					

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	各種交通安全施設の適正な整備及び維持管理を行い、道路利用者の安全性、快適性を確保する。
対象	道路、道路付属物等
意図（目的）	道路利用者の安全性、快適性を確保する。
手段	道路面のカラー塗装、ガードレール等の設置・修繕

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額
			13,000	12,450	13,000	12,183	13,066	12,804	204,790
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	2,450	1,538	451	177	26,701
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	138,000
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		13,000	12,450	10,550	10,645	12,615	12,627	40,089
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		0.60 人		0.50 人	0.00 人
		人件費		0.00		3,915.00		3,263.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				12,450		16,098		16,067	0

令和05年度日進市事務事業評価シート

○令和 5年度に記載した具体的な改善内容

令和 5年度に実施する具体的な改善内容	各区からの要望や通学路交通安全プログラム等に沿って、安全対策の必要性の高い箇所の抽出を行い、適切な交通安全対策を行う。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	歩道や自転車道に対する市民の要望があることから、歩道や自転車道の整備について、路肩のカラー塗装だけではなく対策を検討する。市民からの要望箇所及び危険箇所の洗い出しについても検討する。

令和 5年度に取り組んだこと	各区から提出される要望などに基づき、路面カラー塗装や区画線等の交通安全施設に関する工事を実施した。また、通学路交通安全プログラムに沿って、日進西中学校区に路面カラー塗装等の交通安全施設工事を行った。

成果	道路利用者の安全性、快適性の確保と通学路の安全対策を行うことができた。
課題	対策を実施している箇所について、対策効果を再検証し、より効果的な対策を実施する必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	各区からの要望や通学路交通安全プログラムに基づき、優先度や緊急度の高い箇所から対策を行うことができた。交通安全対策事業は、市民の安全・安心な暮らしを確保するうえで重要かつ必要な事業であり、今後も継続して対策を行う必要がある。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 6年度に実施する具体的な改善内容		各区からの要望や通学路交通安全プログラム等に沿って、安全対策の必要性の高い箇所の抽出を行い、適切な交通安全対策を行う。通学路については、令和６年度より中学校区を１つ増やし、２中学校区を対象とする。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		安全性をより高めるため、実施可能な歩車道境界にはガードパイプの設置を行っていく。			

【アウトプット指標】

指標名	工事実施率					単位	%
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	60.00	30.40	60.00	48.70	60.00	30.80	60.00

【アウトカム指標】

指標名	人身事故発生件数（日進市）					単位	件
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	250.00	260.00	250.00	275.00	250.00	252.00	250.00
式	人身事故発生件数（日進市）						
指標の狙い	地域の安全・安心につながり、事業効果が分かりやすい指標とした。						

令和05年度日進市事務事業評価シート

大事業名		道路整備事業				コード	03110100-0105
中事業名		市道赤池・浅田２号線整備事業				計画区分	①
担当部等		都市整備部		担当課等		道路建設課	
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	11	道路		款	08	土木費
	主要施策	01	幹線道路整備		項	02	道路橋梁費
					目	03	道路整備事業費
					大	01	道路整備事業
					中	05	市道赤池・浅田２号線整備事業
根拠法令・条例等		道路法					
基本計画等		―					

１　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	交差点改良による右折帯の設置並びに歩道の確保を行う。
対象	市道赤池・浅田２号線
意図（目的）	主要地方道と連続する市道の整備を行うことで、慢性化している交通渋滞の緩和と通行する市民の安全を確保する。
手段	用地買収、道路工事

２　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額
			0	0	29,039	26,993	36,340	36,340	6,270
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	10,500	12,550	18,170	17,500	2,539
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		0	0	18,539	14,443	18,170	18,840	3,731
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		0.80 人		0.90 人	0.00 人
		人件費		0.00		5,220.00		5,873.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				0		32,213		42,213	0

令和05年度日進市事務事業評価シート

○令和 5年度に記載した具体的な改善内容

令和 5年度に実施する具体的な改善内容	引き続き用地交渉を進め、令和５年度中の用地買収完了を目指す。愛知県と連絡・調整を図りながら、関係機関協議などを進めていく。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	工事について、河川のボックスカルバート施工も控えており、関係機関との協議を図りながら、安全に工事を進めていく。

令和 5年度に取り組んだこと	市道赤池・浅田２号線に右折帯設置と歩道整備を行うため、引き続き地権者との用地交渉を進め、令和５年度で用地買収は完了した。

成果	用地取得４筆と物件補償１件を行い、用地買収を完了した。また、工事に向けた詳細設計を行った。
課題	愛知県と共同で交差点改良を進めているため、進捗状況や関係機関との協議など、事業の進め方について適宜、愛知県と連絡・調整を行っていく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	Ｂ	現状のまま継続	前年度評価結果	Ｂ
評価の理由	交差点改良を実施し、右折帯と歩道が整備されることにより、渋滞が緩和され歩行者の安全が確保される。市施行範囲の用地買収は完了し、今後は工事を行っていく。安全・安心な市民生活を確保するため、引き続き本事業を進める必要がある。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 6年度に実施する具体的な改善内容		用地買収が完了し、今後は工事を行っていく。引き続き愛知県と連絡・調整を図りながら、関係機関協議などを進めていく。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		令和７年度に豊田川のボックスカルバート施工を予定しており、関係機関との協議を図りながら、県費補助を得て事業を推進する。			

【アウトプット指標】

指標名	用地買収件数					単位	筆
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	0.00	0.00	2.00	2.00	2.00	4.00	0.00

【アウトカム指標】

指標名	道路整備進捗率					単位	%
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	34.80	34.80	42.50	42.50	60.00	60.00	62.00
式	測量・設計進捗率（２０％）＋用地取得率（４０％）＋道路整備率（４０％）						
指標の狙い	事業の進捗度合がわかりやすい指標とした。令和5年度で用地取得は完了したので、令和６年度からアウトプット指標は工事実施率に変更。						

令和05年度日進市事務事業評価シート

【アウトプット指標２】

指標名	工事実施率					単位	%
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
							5.00

【アウトカム指標２】

指標名	舗装整備進捗率					単位	%
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
							4.00
式	（過年度舗装整備面積+当該年度舗装整備面積）÷計画舗装整備面積（1943.3㎡）						
指標の狙い	渋滞緩和（右折帯設置）及び歩行者の安全確保は、計画どおり舗装整備されていることで適うことから、舗装整備進捗率を指標とした。						

令和05年度日進市事務事業評価シート

大事業名		街路整備事業			コード	03110100-0102	
中事業名		（都）野方三ツ池公園線整備事業			計画区分	①	
担当部等		都市整備部		担当課等	道路建設課		
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	11	道路		款	08	土木費
	主要施策	01	幹線道路整備		項	04	都市計画費
					目	02	街路整備事業費
					大	01	街路整備事業
					中	02	（都）野方三ツ池公園線整備事業
根拠法令・条例等		道路法、土地収用法					
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	香久山と野方町・浅田町を結び、本市の新たな南北軸として整備する。
対象	（都）野方三ツ池公園線
意図（目的）	主要幹線道路を補完し、市内の分散立地する市街地や集落地相互の交通流動を円滑に処理する。
手段	用地買収、道路工事

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額
			0	0	199,929	177,553	89,439	4,182	68,901
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	63,542	81,458	19,338	0	8,451
		県支出金	0	0	0	0	2,788	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	33,000
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		0	0	136,387	96,095	67,313	4,182	27,450
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		1.00 人		1.30 人	0.00 人
		人件費		0.00		6,525.00		8,483.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				0		184,078		12,665	0

令和05年度日進市事務事業評価シート

○令和 5年度に記載した具体的な改善内容

令和 5年度に実施する具体的な改善内容	引き続き用地交渉・用地取得を進めるとともに、令和５年度は工事に向けて橋梁の詳細設計等を実施し、対策委員会や地元に対して説明会も開催する予定である。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	今後は用地交渉・用地取得を進めながら、橋梁工事等も行っていく予定である。

令和 5年度に取り組んだこと	引き続き用地交渉を進め、家屋など物件の移転・撤去が必要となる地権者について、代替地提供による３者契約を締結した。令和７年度の工事着手に向けて橋梁の詳細設計を実施し、令和６年３月には対策委員会と地元説明会を開催した。

成果	用地交渉を進めた結果、第１工区の用地取得率は令和５年度末で約５５％に達した。
課題	家屋など物件の撤去や移転が必要となる地権者がいるため、引き続き粘り強く用地交渉を進める必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	本市の新たな南北軸として整備が必要な本路線について、早期の開通を目指して今後も用地取得を進めていく必要がある。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 6年度に実施する具体的な改善内容		工事の進捗を緩めないためにも、地権者ごとに期限を設定し、積極的に用地交渉・用地取得を進めるとともに、令和７年度の橋梁下部工事に向けて引き続き詳細設計等を実施する。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		用地交渉・用地取得を進めながら、橋梁工事等を行っていく。			

【アウトプット指標】

指標名	用地買収件数					単位	筆
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	3.00	5.00	17.00	16.00	3.00	2.00	7.00

【アウトカム指標】

指標名	道路整備進捗率					単位	%
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	33.00	27.24	40.00	40.56	43.00	42.18	46.00
式	測量・設計進捗率（２０％）＋用地取得率（４０％）＋道路整備率（４０％）						
指標の狙い	事業の進捗度合いが分かりやすい指標とした。						

令和05年度日進市事務事業評価シート

大事業名		道路整備事業				コード	03110200-0102
中事業名		道路改良事業				計画区分	①
担当部等		都市整備部		担当課等		道路建設課	
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	11	道路		款	08	土木費
	主要施策	02	生活道路の整備		項	02	道路橋梁費
					目	03	道路整備事業費
					大	01	道路整備事業
					中	02	道路改良事業
根拠法令・条例等		都市計画法、道路法					
基本計画等		―					

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	道路利用者の安全性、快適性を確保するために、道路の適切な維持管理及び改良を行う。
対象	道路
意図（目的）	道路利用者の安全性、快適性を確保する。
手段	舗装修繕及び改良等

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額
			101,250	93,786	83,750	82,105	119,142	108,671	127,580
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	2,536	2,500	5,400
		県支出金	0	0	0	0	0	0	1,012
		地方債	0	0	0	0	0	0	29,000
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		101,250	93,786	83,750	82,105	116,606	106,171	92,168
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		0.60 人		0.60 人	0.00 人
		人件費		0.00		3,915.00		3,915.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				93,786		86,020		112,586	0

令和05年度日進市事務事業評価シート

○令和 5年度に記載した具体的な改善内容

令和 5年度に実施する具体的な改善内容	引き続き、各行政区から提出される要望などに対応するため、調査設計、道路改良を実施する。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	香久山北・南交差点改良事業は対策の完了までに複数年が必要と見込まれるため、計画を立てて実施していく。また、他の要望についても各区等と調整を図りながら、単年度で対応できない件に対しては、計画を立てて複数年で実施し、工事実施率を高めることを目指す。

令和 5年度に取り組んだこと	各行政区等からの要望のうち、実施可能と判断した内容について設計、調査及び工事等を実施した。

成果	道路拡幅、舗装修繕や側溝・排水路を整備、改修し、道路等の安全性・快適性を確保した。
課題	市単独又は単年度では、工事等の効果が発揮できない案件などが実施できずに要望等だけが提出され続けている。施工が必要と判断するものについては、事業実施に向けて計画していく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	各行政区からの要望について、調整を図りながら必要な工事を実施することができた。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 6年度に実施する具体的な改善内容	日々道路を巡視している道路管理者の視点から、大規模な修繕が必要な箇所を聞き取り、施工の検討を行う。				
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	実施できていない要望等について、できる限り継続案件とせずに可不可を判断し、可能なものの事業計画をしていく。				

【アウトプット指標】

指標名	道路改良に関する区長要望工事実施件数					単位	件
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	20.00	13.00	20.00	20.00	25.00	20.00	25.00

【アウトカム指標】

指標名	道路改良工事実施率（区長要望実施率）					単位	%
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	40.00	44.80	50.00	66.70	70.00	45.50	70.00
式	道路改良工事実施数／道路改良に関する区長要望数×１００						
指標の狙い	優先度や緊急度を図りながら工事を進めていく。						

令和05年度日進市事務事業評価シート

大事業名		道路整備事業				コード	03110300-0103
中事業名		道路長寿命化事業				計画区分	①
担当部等		都市整備部		担当課等		道路建設課	
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	11	道路		款	08	土木費
	主要施策	03	道路・橋梁の適正な維持管理・長寿命化		項	02	道路橋梁費
					目	03	道路整備事業費
					大	01	道路整備事業
					中	03	道路長寿命化事業
根拠法令・条例等		道路法、河川法					
基本計画等		橋梁長寿命化修繕計画、横断歩道橋修繕計画、折戸高松線始め１２路線舗装修繕計画等					

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	従来の事後的な修繕から予防的な修繕へ転換し、道路や橋梁等を計画的に修繕するために、定期点検結果に基づいた修繕計画を策定したうえで、計画的に修繕工事を行うものである。
対象	道路、橋梁等
意図（目的）	道路利用者等の安全性を確保する。
手段	定期点検による既存道路施設の健全度を把握したうえで、適切な管理を実施する。

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額
			39,544	18,893	58,500	52,509	154,561	107,483	180,900
財源内訳	特定財源	国庫支出金	4,004	3,704	13,230	16,188	52,895	50,947	43,092
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	24,000	22,300	25,000
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		35,540	15,189	45,270	36,321	77,666	34,236	112,808
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		0.65 人		0.60 人	0.00 人
		人件費		0.00		4,241.00		3,915.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				18,893		56,750		111,398	0

令和05年度日進市事務事業評価シート

○令和 5年度に記載した具体的な改善内容

令和 5年度に実施する具体的な改善内容	令和４年度までの点検結果を基に橋梁、横断歩道橋、大型ＢＯＸの修繕工事を実施する。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	道路施設の長寿命化においてライフサイクルコスト縮減を図るため、点検の結果をもとに、予防保全の補修工事を計画的に行っていく。また、必要な予算を安定的に確保するため、基金の運用、補助金の確保などの方法を検討する。

令和 5年度に取り組んだこと	市内２車線道路の路面性状調査及び舗装修繕工事、並びに上川橋始め１３橋の補修設計及び藤塚跨線橋修繕工事を実施した。

成果	橋梁について、計画的に点検、設計及び補修工事を実施しており、長寿命化に寄与できている。また、舗装についても、路面の劣化状況に応じ緊急度の高い路線から計画的に修繕し、安全な道路を確保できている。
課題	点検結果に基づき事後保全を実施しているものの、市内全域で老朽化が進んでおり、事後保全から予防保全へシフトできていない。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	評価Ⅲ以上の健全度の判定で早期又は緊急に措置を講ずべき橋梁の補修は実施できている。通行者の安全を確保するためにも、現状の水準は継続する必要がある。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 6年度に実施する具体的な改善内容		新技術を活用しコストダウンや構造物の耐久性の向上を図る。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		事後保全の対象となっている橋梁数を減らし、予防保全へシフトしていく。			

【アウトプット指標】

指標名	橋梁工事実施数					単位	件
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	5.00	0.00	5.00	0.00	1.00	1.00	1.00

【アウトカム指標】

指標名	橋梁定期点検判定健全割合（Ｉ区分）					単位	%
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	30.00	21.80	30.00	21.80	30.00	21.80	30.00
式	橋梁定期点検判定健全区分（Ｉ区分）／計画対象橋梁（８７橋）×１００						
指標の狙い	継続して対策を進め、健全な橋梁を増やしていく。対策の効果が分かりやすい指標とした。						